

(様式 1－3)

新地町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成27年6月時点

※本様式は1－2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	66	事業名	水産業共同利用施設復興整備事業(水産加工流通復興タイプ)	事業番号	C-7-2
交付団体		新地町	事業実施主体(直接/間接)	民間主体	
総交付対象事業費		445,000(千円)	全体事業費	700,000(千円)	
事業概要					
新地町の主要産業の一つである水産業は東日本大震災により壊滅的な被害を受けた。その円滑かつ迅速な復興を図るため、県および町が水産業基盤再生に必要な漁港、漁場の復旧事業を実施し、水産加工共同使用施設の整備については民間公募型により、水産加工施設の経営再開と水産物の安定供給や六次産業化を実現するための支援事業を実施する。なお、当事業は釣師浜漁港の背後集落を対象地域とするが、事業用地は事業実施主体が自己の責任において取得することとする。					
当面の事業概要					
釣師浜漁港背後集落における水産加工共同利用施設の整備 事業内容：釣師浜漁港及び近隣漁港の地元産魚介類 敷地面積：約5,000m ² 建築面積：約2,000～2,500m ² 主要設備：冷凍庫。製氷機、魚類加工設備（シラス・小女子加工、レトルト加工等）等					
東日本大震災の被害との関係					
新地町は東日本大震災前から漁業経営の強化の観点から、資源管理型漁業の推進と共に水産加工事業の促進を図ってきた。しかしながら震災に伴う津波により、釣師浜漁港ではほとんどの施設が流出、全壊の被害を受けた。漁業者や水産加工業者は自宅、船、漁具等生活基盤を失った。更に原発事故によって本格操業再開の見通しも立たず、このままでは町の漁業の衰退を招くことになる。現在進めている漁港・漁場復旧事業に加え、民間公募型の水産加工施設整備事業の実施により水産業、水産加工業の再活性化を図り、復興計画でめざす「海のあるまち再生」の道筋を確固としたものにすることが出来る。					
関連する災害復旧事業の概要					
災害復旧事業により、釣師浜漁港周辺の防潮堤の復旧が進められており、集落内を経由する主要地方道相馬亘理線においても災害復旧事業が進められている。					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	